

議長	副議長	事務局長	副参事	係長	係員

令和5年5月15日

三沢市議会

議長 堀 光雄 殿

三沢市議会

議員 堤 喜一郎

個人研修視察復命について

令和5年4月18日（愛知県蒲郡市）、同19日（東京都足立区）において個人研修視察を行った結果について、下記のとおり復命いたします。

記

1. 愛知県蒲郡市

(1) 粗大ごみ等に係るメルカリ S h o p s の活用について

ごみの減量化ともったいない精神具現化を狙い、メルカリと連携・共同して日本で最初に実行に移した。現在では全国に新潟市、加茂市をはじめ、10以上の自治体が展開している。また、この事業は内閣府 S D G s の推進の官民連携のプラットフォームとしても役割を担っている。現在の粗大ごみの主なものは伐採木と市から出る不用品である。

(2) シティセールスについて

職員経験者の新市長の特命により新課をつくり、シティセールスを次のように積極的に実施している。①新たな資産の P R と既存資源の磨き上げ、②蒲郡市への長期的定着・定住の促進、③官民連携による魅力的な情報発信、④農漁業と商業、観光、交流の連携強化。

蒲郡市が目指す三大ポイントとして、①シビックプライドの向上、②定住人口の増加、③交流人口の増加に定め、積極的に取り組んでいる。

※対応者別添のとおり

2. 東京都足立区

(1) 給付型奨学金の活用について

「区」の永年の課題（治安、学力、健康）から来る子どもたちの貧困の連鎖を解消するため、次代を担う子ども支援が必要不可欠との市長の方針の

下、新制度－返済不要の給付型奨学金を始めた。

医学部、薬学部は上限3,600万円（6年）、一般大学生は約826万円（4年）で年間40名程度を予定している。区の子どもたちが夢を諦めずチャレンジし、将来自立し、社会に還元していくことで足立区に誇りと自信が増えるとしている。

(2) 部活動の地域移行について

国が進める公立中学校の部活動の「地域移行」は地域クラブや民間事業者に指導を委ねる新たな方式については、(A)指導者の問題、(B)費用の問題、(C)安全確保や事故防止の問題、(D)行政などによる外部指導者への研修の遅れ等が指摘され、「都」自体が動かないで「区」としても動きが取れない現状である。「区」のキーワードは、「指導者の指導者が必要」とのことであつた。

※対応者別添のとおり

